

2021 年度第 5 回アジア政経学会理事会

【日時】：2021 年 12 月 11 日（土）13:00～15:06

【会場】：オンライン（Zoom ミーティング）

【議長】：佐藤百合理事長

【出席者】：

青山、阿古、阿南、石塚、磯崎、大庭、川上、川島、倉田、小嶋、佐藤創、佐藤百合、清水、鈴木絢女、鈴木隆、中岡、中溝、福田、寶劔、三重野（以上理事、敬称略）、磯崎、加茂（監事、敬称略）

【欠席者】：遠藤、後藤、益尾、松田（以上理事、敬称略）

13:00、佐藤百合理事長が開会を宣言。理事、監事ともに定足を満たしているので、本理事会が有効に成立する旨、併せて宣言された。その後、議案の審議に入った。

審議事項

1. 2022 年度春季大会について

鈴木絢女理事より、2022 年度春季大会を 6 月 11～12 日に同志社大学で開催すること、22 年 1 月より自由応募分科会、自由論題の募集を開始すること、および開催形式は募集時には「対面またはオンライン」とし 3 月の理事会でどちらにするかを改めて審議することが提案され、審議の結果、満場異議なく承認された。

2. 2022～23 年度樫山セミナーおよび国際連携について

佐藤創理事より、資料に基づき、樫山セミナーを、2022 年度秋季大会に合わせて、原則として対面の方式で開催することが提案され、審議の結果、満場異議なく承認された。佐藤理事からは、併せて、2022 年度および 23 年度の同セミナーを、アジア地域の国際政治経済的な構造変化を学際的に話し合う場とすること、および今後の国際連携の方針として、欧米やアジアのアジア地域を対象とする学術大会との連携の可能性を探ることが提案され、具体案は継続して審議されることとなった。

3. ニュースレター・ウェブ版における個人情報の取り扱いについて

佐藤理事長より、個人情報保護の観点から、学会員の入会・退会・休会に関する情報は、ニュースレターの紙媒体版のみに掲載し、ウェブページ版の当該ページは理由を示したうえで白紙とすること、および、すでにウェブページに掲載されている個人名は、ページのリニューアル時に白紙とすることが提案され、満場異議なく承認された。

4. 入会者・休会者・退会者・会費優待者の承認

磯崎理事より、資料に基づき、入会申請者4名（うち1名は来年度からの入会希望）、退会申請者1名、会費優待申請者4名があったことが報告された。審議の結果、いずれの申請も承認された。また磯崎理事より、各理事に対し、住所不明者、会費4ヵ年未納者への呼びかけが求められた。

5. 会員名簿作成について

磯崎理事より、資料に基づき、前回と同規模の費用で会員名簿を作成することが提案され、満場異議なく承認された。

6. 日本経済学会連合の評議員交代と同連合70周年記念事業について

清水副理事長より、日本経済学会連合にアジア政経学会から評議員として参加する2名を、2022年度より、丸川元理事長・清水副理事長から佐藤理事長・清水副理事長に交代すること、および、同連合70周年記念事業の一環として、加盟学会を紹介するYouTubeチャンネルが開設されるにあたり、佐藤理事長と清水副理事長とで、本学会を紹介するビデオを作成することが提案された。審議の結果、満場異議なく承認された。

7. 2021年度理事会議事録のナンバリングの修正について

中岡理事より、2021年5月30日から6月7日かけて持ち回り方式で開催された第1回臨時理事会の後、6月18日に開催された理事会のナンバリングは「第1回」ではなく「第2回」とされるべきことが指摘された。審議の結果、満場異議なく承認された。これにより、6月19日開催の理事会を第3回、9月18日の理事会を第4回、今回の理事会を第5回に、それぞれ変更することとなった。

報告事項

1. 2021年度秋季大会開催報告

阿南理事より、資料に基づき、2021年度秋季大会の総括報告が行われた。秋季大会がおおむね順調に実施されたことに加え、得られた教訓や課題などが詳細に報告され、今後の学会運営に有益な多くの情報が共有された。

2. 2021年度春季・秋季大会収支報告

倉田理事より、資料に基づき、2021年度春季大会および秋季大会の会計処理に関する報告が行われた。

3. 優秀論文賞積立基金の寄付募集について

三重野理事より、資料に基づき、優秀論文賞積立基金の寄付募集活動の作業過程、寄付募集の現状および今後の方針について報告がなされた。

4. 定例研究会について

寶劔理事より、資料に基づき、9月18日に第27回定例研究会が予定通り実施され、3つの報告に対し、討論者とフロアーから多くの質問と建設的なコメントが寄せられたことが報告された。

6. 『アジア研究』編集進捗状況

川上副編集長、福田理事より、資料に基づき、『アジア研究』の編集作業がおおむね順調に進んでいる旨、他方、論文投稿が少なくなっているため、大学院生などに投稿を呼びかけしてほしい旨、報告がなされた。併せて、『アジア研究』奥付に、編集・出版の過程で多大なるご協力をいただいているお茶の水学術事業会を追記すること、および、学術雑誌論文の検索・閲覧データベース EBSCO に対し、『アジア研究』収録の許可を与える旨、報告された。

7. ニュースレターについて

青山理事より、2022年3月4日に発行予定のニュースレター第57号の内容が提案され、満場異議なくこれを承認した。

8. 学会の「主たる事務所」に関する問題について

佐藤理事長より、資料に基づき、一般財団法人として学会が法務局にその住所・連絡先を登記する「主たる事務所」をどこにすべきかに関する問題が提起され、これについて各理事よりいくつかの案が提示された。提示された案も参考に、総務担当理事を中心に継続審議とすることとなった。

9. 学会 HP のリニューアルについて

鈴木隆理事より、資料に基づき、学会 HP のリニューアルに関する作業の進捗状況が報告された。

15:06 に佐藤百合理事長が閉会を宣言し、理事会を終了した。

以上

令和 3 年 12 月 11 日

議長（理事長）

佐藤 百合



議事録署名人（監事）

磯崎 典世



議事録署名人（監事）

加茂 具樹

